

製品ガイド（機種別編）読み替えの補足情報



本紙「製品ガイド（機種別編）読み替えの補足情報」は2枚構成になっています。本紙をご覧になる場合、別紙「マニュアルをお読みになる前に」と合わせてお読みください。

注1：・アプリによっては、CPU名表記が異なる場合があります。

- ・本タブレットに搭載されているCPUで使用できる主な機能については、『製品ガイド（機種別編）』－「5.2 [CPU]」をご覧ください。

注2：インテル® バースト・テクノロジー動作時。

注3：以下は液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示する全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
- ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。
- ・本タブレットで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらくすると消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源オプション」ウィンドウ左の「ディスプレイの電源を切る時間の指定」から行えます。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少なほ点が目立つことがあります。

注4：選択したモデルによりいずれかが搭載されています。

注5：容量は、1GB=1000³バイト換算値です。

注6：・NTTドコモの通信サービスをご利用の場合

SIMカードスロットにXiに対応したSIMカード（*1）を装着するだけで、受信時最大225Mbps/送信時最大50Mbps（*2）の超高速通信が可能です（Xiエリアの一部に限ります）。

Xiエリア外であってもFOMAのエリアであれば受信時最大14Mbps/送信時最大5.7Mbps（*2）の超高速通信が可能です。（*3）

*1：ドコモ nanoUIM カードが利用可能です。

*2：対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。エリアの詳細についてはNTTドコモのホームページ（<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/index.html>）をご確認ください。

*3：無線 WAN をご利用になるには、当社が提供する企業向けネットワークサービス「FENICS II ユニバーサルコネク」の契約または NTT ドコモとの回線契約および Xi に対応したプロバイダーとの契約が必要です。

・KDDI (au) の通信サービスをご利用の場合

SIM カードスロットに 4G LTE に対応した SIM カード（*1）を装着するだけで、4G LTE（*2）、WiMAX 2+ の高速通信がご利用いただけます。（*3）

*1：「au Nano iC Card 04 LE」のご利用となります。

*2：一部エリアを除く。

*3：4G LTE エリア内であっても電波状況によりご利用いただけない場合があります。エリアについての詳細情報は、（<https://www.au.com/mobile/area/>）をご覧ください。「4G LTE」「WiMAX2+」は回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと判断したネットワークに接続します。

・SoftBank の通信サービスをご利用の場合

SIM カードスロットにソフトバンクの SIM カード（*1）を装着するだけで、「SoftBank 4G LTE」「SoftBank 4G」の超高速通信が可能です。また、「SoftBank 4G LTE」「SoftBank 4G」エリア外でも「3G ハイスピード」の通信でご利用が可能です。（*2）（*3）（*4）

*1：ソフトバンク所定の USIM カード「USIM カード（F）」でご利用が可能です。「US カード（F）」から nano サイズで取り外し装着してください。

*2：SoftBank 4G LTE、SoftBank 4G は、第 3.5 世代移動通信システム以上の技術に対しても 4G の呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。

*3：対応エリアの詳細はソフトバンクのホームページ

（<https://www.softbank.jp/biz/mobile/network/>）でご確認ください。

*4：無線 WAN をご利用になるには、ソフトバンクとの通信回線契約が必要です。

- 注7：BIOS セットアップの「詳細」メニュー→「各種設定」→「バッテリーの充電電圧」を「通常電圧モード」に設定して測定しています。
また、バッテリー駆動時間は、ご利用状況やカスタムメイド構成によっては記載時間と異なる場合があります。
- 注8：一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver. 2.0) 」 (<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=84&ca=14>) に基づいて測定。
- 注9：・当社測定基準によります (標準搭載メモリ、標準フラッシュメモリ容量、無線 WAN / 無線 LAN / Bluetooth ワイヤレステクノロジー OFF、LCD 輝度最小)。
・電源オフ時の消費電力 (満充電時) は、約 0.2W 以下です。電源オフ時の消費電力を 0 にするには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 注10：平均値のため、お使いのタブレットで質量が異なる場合があります。
- 注11：エネルギー消費効率とは、JIS C62623 (2014) に規定する方法により測定した年間消費電力量です。カッコ内の数値は省エネルギー基準達成率を示します。ただし、達成率が 100% を超えるものは、次のようにアルファベットによる表示語で表記しています。
A：100%以上 110%未満、AA：110%以上 140%未満、AAA：140%以上。
- 注12：日本語版。